



ハウスの中はあつたか

寒冬といわれているこの冬、今日は大寒だというのに、ここのシイタケ栽培舎の寒
 暖計は十七度をさしています。水無治五兵衛岱でシイタケ栽培に精を出しているのは
 辻芳夫さんご夫婦です。最近では町内でもシイタケ栽培者が増えていますが、この道は
 大先駆者の彼の所へ技術や市場の相談にやってくる。私はホタテ木八千本位の小
 規模ですが、こうして冬も出稼ぎしなくてもいいし、欲張らずやっていますよ」と言い、
 栗園やタラノメ、野菜作りなど、忙しくなる春も近いと話していました。


あに

昭和59年

1月

No. 257

編集・発行 秋田県阿仁町役場総務課

新年のあいさつ

阿仁町長 近藤 竹雄



人から受けついで功績と、秀れたそれぞれの地域を二十一世紀へ向けて更に発展

飛躍にむけて

明けましておめでとございます。新しい年のスタートにあたり町民皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

させるため、全職員一丸となつて行政を推進するべく決意を新たにしている次第であります。

より、大詰めを迎えた鷹角線の全通はなんとしてでも成就させなければなりません。

わが阿仁町は町村合併後、来年は三十年を迎えることになりました。この間、先

すでにご案内のとおり昭和五十八年度においてもいまだかつて経験したことのない厳しい情勢の中、引

幸いにして、観光立町を目指す当町に、昨年七月、県と大手観光企業である国土計画株式会社により森吉

き続き町財政の健全化をはかりつつ住民生活安定確保に必要な施策を講じ、来るべく二十一世紀を展望し、活力ある町づくりを全力投球して参りました。

その中でも開業五十年、地域と生活に深く根ざしてきた阿仁合線の存続はもと

山大規模スキー場建設が正式発表、そして十月には堤義明社長自ら現地視察のため来町し、事実上建設にゴサインが出されたことは、全町民を勇気づけ、大きな期待に意欲を燃やしています。

私たちは、今まで以上に英知と総力を結集し、いかなる事態にも的確に対応できるような断続的努力を積み重ねていかなければならぬと考えます。

又、経済不況の中、阿仁電機、羽後産業に続き鳥倉縫製の企業誘致に成功し、すでに現時点百名を超える人が就労、雇用の場が大きく拡大されたことは、共に喜びを多としているところであります。

町政の負託をうけ早くも

三年、基幹産業である農業の振興はもとより地場産業の育成をはかり、安心して生き生きと暮らせる安定した職場の確保にこれからも努力して参りたいと存じます。

今年もあらゆる情勢がますます厳しさを増すことは必至と思われませんが、次の世代にたえうる効率の高い行政の見直しと節約をはかり、山積する難問にアタックして参る覚悟でありますから、どうぞ六千町民あけてご支援ご協力を賜りますようお願いをお願い申し上げます。私の年頭のごあいさつといたします。

記録達成し

年間無火災

59年 消防出初式

昭和五十九年消防出初式が新春四日、町民体育館で行われました。

式典に先立って、消防自動車を先頭に、消防団員、婦人消防協力隊、広域消防署員、総勢三百三十六名が旧阿仁合小学校から町民体育館までパレードしました。昨年の年間無火災記録と

いう金字塔をうち立てての行進は足どりも力強く、初春の陽を胸に受けて、町長、消防団長の閲兵を受けました。

式典では、町が昭和二十三年自治体消防発足以来、一度も達成したことのない年間無火災記録を、一昨年十二月の火災以降無火災の日を続け、ついに樹立したことをたたえました。そして、さらにこの記録をぬりかえようと、心新たに誓い合いました。

県内無火災は阿仁町など四町だけ

昨年一年間の、県内の火災発生件数は七百十一件で過去十年間における平均発生件数より九十五件多く、この火災で二十五名の尊い生命がうばわれています。

鷹巣阿仁広域消防署管内を見ると、二十三件発生しており、阿仁町だけが無火災記録を達成、県内でも四



12月16日
1月15日

- 16日 部落会長会議
- スキー場開発に関する協議会
- 18日 衆議院選挙投票日
- 羽後産業研修会(男鹿市)
- 19日 課長会議
- 21日 定例町議会
- 22日
- 23日 県庁地方課へ(秋田市)
- 24日 町営スキー場開き
- 25日 29日、新年度事業陳情等用務で上京
- 28日 西武ライオンズV II 祝賀会(東京都)
- 1日 阿仁合建設技能組合 総会
- 4日 消防出初式
- 5日 役場職員新年式
- 6日 出稼ぎ就労者懇談会
- 7日 打当部落打ち合せ会
- 金属鉱山危機突破秋田県大会(大館市)
- 12日 東北農政局陳情(仙台市)
- 13日 農林省陳情(東京都)

次頁につづく



初の偉業—年間無火災記録 町民ぐるみの金字塔

町だけという偉業期をむかえて火の取り扱う機会が多くなることから、火災発生の危険度が高くなってきます。加えて、出稼ぎにより地域の男手が不足していることから、有事における不安もつづいていきます。家庭でも地域でも、町民一人ひとりが火災に対する心配りをし、今年もまた無火災の町にしたいものです。これから、厳寒

梅井氏(第四分団長)らに有功章
なお、この式典の席上、長年消防活動に尽力されている優良団員、永年勤続などの表彰があり、次の方々が受彰されました。この中には、昔ながらの「火の用心」巡回活動などを続けて

いる新中少年防火クラブ(代表鈴木智行君)もあり、晴れの受彰に輝いていました。
□団員表彰
▽有功章
梅井繁雄、大野一郎、越前谷鶴松。
▽三十五年勤続章
上杉忠雄、松橋兼治、佐々木礼吉。
▽三十年勤続章

片岡勲、松橋卓治、鈴木金作。
▽二十年勤続章
大木松雄
▽十五年勤続章
湊誠一、大野重夫、加賀重治。
▽十年勤続章
松橋吉太郎、加賀直人、菊地忠雄、辻鉄也、辻敏男、伊藤一夫、鎌田従夫、辻力夫、山田富雄、高橋永一郎、魚住常雄、八田巖夫、上杉金男、佐藤昭夫、松橋久之助、宮野勝男。
□少年消防クラブ表彰
新中少年防火クラブ
□予防組合表彰
笑内地区婦人消防協力隊
□五ヶ年無火災分団
第五分団、第七分団

町の教育委員に 松橋文之助氏(比立内)



欠員となっていた町の教育委員に、比立内の松橋文之助さんが任命されました。松橋さんは大阿仁小、第二中の各PTA会長として学校教育に、阿仁町公民館大阿仁地区館長として社会

教育にと長らく尽力、現在は比立内地区コミュニティ会長として地域福祉の向上に献身されています。昭和四十七年に荒瀬郵便局長に就任、「荒瀬の局長さん」と町民から親しまれており、教育委員として最適のかたといえます。
〔略歴〕昭和四十一年、四十五年及び四十九年、五十年まで阿仁町公民館大阿仁地区館長を歴任。昭和四十七年荒瀬郵便局長就任。比立内字堂ノ向、六十一歳。

集団間伐事業 計画書とりまとめ

高率補助によって実施できる「集団間伐事業」については、先に五ヶ年計画を提出していただきましたが、まだ十ヘクタールほど計画面積がありますので、未提出者は早急に申し込みください。

- 一、対象林令「十六年生以上、二十五年生以下」
- 一、補助率「六十%」
- 一、申込期日「一月三十一日まで」
- 一、提出先「農林畜産課へ」

12月定例町議会

スキー場計画に全力

町長が行政報告

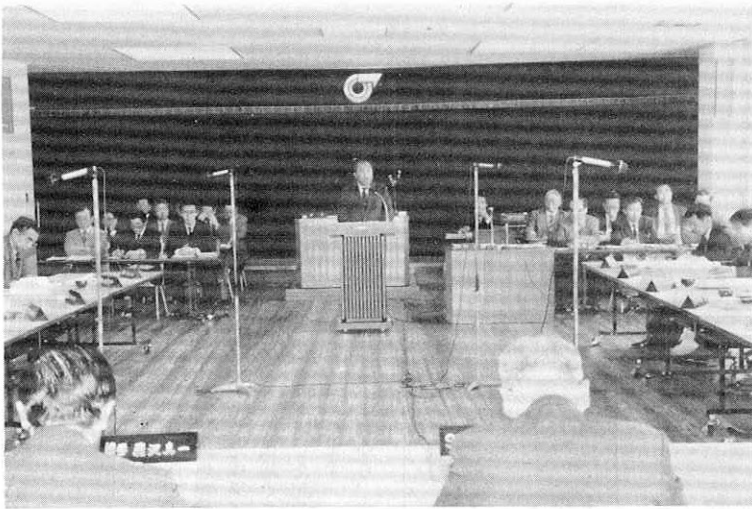
町議会十二月定例会が、十二月二十一日から二十二日までの二日間にわたって開かれ、十四の議案が審議され、可決になりました。新人議員にとって初の定例会とあって、一般質問に立って論戦を交わしました。

アクセス道路が最大課題

森吉山スキー場開発計画については、去る七月二十五日に、県知事から公式に国土計画(株)の基本計画が発表されていますが、その内容は、雄大なスキー場となる条件を備えており、受け入れ体制を整えばスキー場建設に取り組みたいとして、阿仁町側に四・五キロのロープウェイを、森吉町側に三・二キロのゴンドラを架設するというものです。

この発表後、八月に県と両町とで国土計画本社を訪問して、提社長に対し敬意と歓迎の意を表しています。十月には社長自らが現地調査のため来町、建設に意欲的な姿勢を示し、上空から森吉山を視察しています。一方、県では「森吉山スキー場開発計画検討委員会」を設置。十月来町し現地視察を行った結果、スキー場へのアクセス道路の問題が最大課題として取り上げられました。当町のルートとしては荒瀬川線ルートを主要路線として作業にあつ

町議改選後の初定例会で行政報告する近藤町長



ています。

町としては、庁内に実務型のプロジェクトチームを編成、この冬の調査に備える等作業にあたっています。

また、この計画を町ぐるみで推進すべきとの認識のもとに、町民レベルでのスキー場開発推進協議会を設置することになっています。この冬の調査によつては、今春にも具体的な計画提示があるものと予測しており、当町としての対応策を明らかに出来るものと考えます。以上、スキー場開発を町政の最重要課題とし、今後積極的に推進してまいりたいです。

鷹角線大詰へ

懸案の鷹角線については、第三セクターにおける沿線町村の財政負担をめぐって、北口では合意に達しましたが、南口で若干の曲折がありました。田沢湖町で負担し得ない金額を西木村と角館町で負担することにつき、角館町で対議会との関係でもう少し時間を借して欲しいとのことで、合意形成にあと一息という段階です。

十一月には県が運輸省に

対し「知事意見書」を提出していますが、これには第三セクターを進めるにあつての諸条件確保の要望が強く盛り込まれており、鷹角線問題もいよいよ大詰をむかえています。

財政健全化へ

県指定

県では、五十七年度決算において経常収支比率が八十五%以上、公債費比率が十五%以上の市町村に対し、財政構造健全化計画を策定させ、助言、指導を行うことになりました。

当町は、経常収支比率が八十一・五%ですが、公債費比率が十七・五%と異常に高いため、この指定を受け、六十年度までの三ヶ年間の健全化計画を作成、地方課の指導を受けています。これにより、厳しい行政の見直しに迫られますが、町の命運をかけた森吉山スキー場計画や、鷹角線第三セクター等、問題が山積する中であつて、皆さまのご協力での難局を乗り越えたいと考えています。

一等米比率

高まる

今年の当町の作柄は平年並でしたが、部分的に被害の発生があつたことから、初の農単方式による損害評価を実施し、二割以上の被害農家十五戸に、九十六万八千円の支払いが確定しました。

米の売渡し実績は前年度より千六百六十俵多い一万九千四百九俵で、一等米比率も向上、五十二%でした。来年度から始まる第三期水田利用再編対策は、面積で前期より八ha少ない五十七ha、限度数量で八百六俵増の一万五千九百四十五俵が当町に配分されました。

また、転作奨励金が、基本額十a当り三万五千円が二万七千円に引き下げられる等の内容となっています。

老人ホーム

増改築完成

町養護老人ホームの増築及び改築工事は工期内に完成、大部屋が解消になつて

荒瀬川農道

三期工申請

農道事業等の進捗状況は、荒瀬川線大阿仁農道整備事業、(次頁上段へ)

業の第一期、第二期工事として採択された四千三百六十メートルは十三%の進捗率であり、未採択の二千四百二十メートルも第三期工事として採択を陳情中です。

農村モデル事業の集落排水工事の比立内地区本年分三十%の進捗状況です。

第三期山振事業の打当地区草地造成は完成、吉田地区のかんがい排水工事は三十七%の出来高状況です。

団体営草地整備事業大平地区が完成、土倉地区は見送りとなっています。

五十八年度治山事業は十一カ所が完了、関係予算は一億一千五百万円に達しています。

幸屋地区の農道整備事業について、本年度は第一期工事の舗装の残工事と、第二期工事の道路造成の一部と補償を行い、橋梁工事はボーリング調査をしました。

なお、八年ぶりに開催した産業文化祭は、各機関、団体及び企業等のご協力により大好評を博しました。これを契機に、町産業発展に結びつける行事として定着させたい考えです。

**笑内地区に
給水開始**

五十六年度から三か年継続事業として施行してきた、

比立内地区簡易水道拡張工事は、昨年の岩ノ目沢、鳥坂地区に引き続き、十一月より笑内地区三十二世帯に本格給水が始まっています。

これにより町の簡水施設は七施設となり、普及率七十一%となりました。

国保事業の本年度上半期における医療給付費は、前年同期に比較して、微増となっています。

**道路建設
工事順調**

今年度計画の道路建設事業は、町道改良五路線六カ所、モデル事業の改良舗装八路線十カ所ですが、笑内中央線を除き完成しました。

町道維持工事も十一カ所が完成しています。

林道事業は、六カ所の改良等の工事が完成しました。県代行の小倉沢林道は、今年度分工事八百四十メートルが完成しています。

冬期交通確保除雪事業は、町内六十七・九キロを計画、このうち常時完全除雪延長四十九キロに、町有除雪機械七台を配置して実施することにしています。今年度は、機械の更新購入が行われ、全車両が車輪式となったことから、打当方面も町直営で実施の予定です。

五十九年度補助事業採択を要望していたところ、来年度追加事業として申請の内諾を得たので、現在県より建設省に申請中です。

県道打当阿仁線最大のネックであった志瀨内沢橋が完成、通行可能となりました。

阿仁合バイパスは昨年度に引き続き用地買収を行い、地権者と交渉、協議を重ねています。なお、地下水調査は、県でボーリングに引き続き観測調査を実施、さらに長期的に続行することになっています。

**幸兵工滝に
遊歩道**

幸兵工滝の歩道整備工事は、十一月に完成しました。これにより、二ノ滝より幸兵工滝に至る部分に鉄筋による階段が取り付けられる等、婦人、子どもでも行けるように改善されました。

打当温泉スキー場(仮称)造成工事は、十一月末までかかって完成しました。今後は草地造成部分とつなぐなど拡張整備につとめます。

**内科医師で
接 渉 中**

町立病院は六月から内科医師が毎日診察しています。が、反面、先生が毎日かわ

るといふ点も出て来ました。先般の自治体病院関係市町村と大学の先生方、並びに県当局との合同会議では、当町の実状を訴え、要請しました。

レントゲン技師を九月広報で募集したところ、二名の応募がありました。条件を満たしておらず、再度公募のつもりです。

**阿小教員
住宅完成**

阿仁合小教員住宅建築工事は、工事費六百万円で十一月三十日完成しました。第一中寄宿舎は、八名の生徒を収容して、十一月一日から開設しています。

へき地教育公開研究会が大阿仁小と中村小で開かれ、全県下から参加の関係者から賛辞を得ました。

青年の社会参加活動の基礎資料とするため、意向調査を実施しました。地域で、青年会等いずれの団体にも参加していない青年が三分の一を占めています。が、反面必要性を認める人が半数以上で、その活動内容はスポーツ、レクを望んでいます。

今回の調査を基に、青年の社会参加の施策を講じて行くつもりです。

12月町議会
主な議決内容

阿仁町一般職の給与に関する条例の一部を改正
阿仁町職員の給与改定に伴い、給与条例の一部が改正されました。

阿仁町町税条例の一部を改正
五十九年度分個人町民税に限り基礎控除額の特例が加えられました。

阿仁町農業共済条例の一部を改正
家畜共済申し込み書様式改正など条例の一部が改正になりました。

養護老人ホーム増築及び改装工事契約の一部変更
契約金額三千二百九十七万円が、三千三百七十七万八千六百四十円に改められました。

五十八年度阿仁町一般会計補正予算
既定の予算総額に歳入歳出それぞれ五百九万五千円が追加されます。主な内容は職員給与改定にともなう増、山村振興事業工事情費の減などによるものです。

この結果、阿仁町一般会計予算総額は二十一億五千七百六十六千円となります。

五十八年度阿仁町特別会計農業共済事業、同国民健康保険事業、同阿仁合財産区、同大阿仁財産区、同簡易水道、同病院事業の補正予算
職員給与改定などによってこれらの特別会計予算に補正が加えられました。

阿仁合財産区並びに大阿仁財産区の管理委員選任
向財産区各七名の委員の選任について、同意が得られました。

阿仁町教育委員任命
新しく教育委員に松橋氏を任命する件について、同意が得られました。

- 阿仁合財産区管理委員
- | | | | |
|-------|-----|-------|-----|
| 戸嶋 清勝 | 小 様 | 佐藤 佐吉 | 根 子 |
| 鈴木伝之助 | 小 瀨 | 伊東 俊孝 | 伏 影 |
| 庄司宏太郎 | 吉 田 | 松橋 久八 | 幸屋渡 |
| 米谷 忠金 | 水 無 | 松橋 慶蔵 | 比立内 |
| 加賀谷 広 | 銀 山 | 佐藤 時幹 | 幸 屋 |
| 高橋 長作 | 荒瀬川 | 加賀谷時一 | 戸鳥内 |
| 伊藤 照夫 | 荒 瀬 | 鈴木 明治 | 打 当 |
- 大阿仁財産区管理委員

の家計簿

財政報告

(4月～9月)一般会計執行状況

4,283万7千円

歳出 支出済額 8億117万4千円
 支出率 37.4%

農林水産業費	20・1%	3億9,538万円 (支出済額) (7,955万円)
公債費	43・5%	3億5,524万円 (1億5,462万円)
民生費	35・7%	2億6,996万円 (9,635万円)
教育費	43・5%	2億4,943万円 (1億841万円)
総務費	52・4%	2億4,803万円 (1億2,987万円)
衛生費	35・3%	1億2,034万円 (4,294万円)
土木費	19・4%	1億1,127万円 (2,156万円)
その他	42・7%	3億9,319万円 (1億6,787万円)

“一般会計のつかいみち報告”
 昭和五十八年度の上半期(四月～九月)における町財政のあらましについて報告いたします。
 この報告は、地方自治法と町条例にもとづいて公表するものです。
 みなさんの生活に密接なつながりをもつ町の家計簿ですので、もういちど、町の予算、財政状況がどうなっているか考えてみてください。

町税の状況

金額 種類	総額	町民1人当りの税金 円
固定資産税	9,891万1千円	16,479
町民税	6,744万7千円	11,237
たばこ消費税	1,740万円	2,899
電気税	864万円	1,439
木材引取税	450万1千円	750
軽自動車税	182万5千円	304
その他	6千円	1
計	1億9,873万円	33,110

お知らせ します 「町」

58年度 上半期

一般会計 21億

収入済額 10億2,916万3千円

収入率 48.0%

歳入

10億 1,356万円 (収入済額) (7億1,160万円)	70・2%	地方交付税
3億2,881万円 (1,331万円)	4・0%	県支出金
2億2,010万円 (160万円)	0・7%	町 債
1億9,873万円 (1億2,170万円)	61・2%	町 税
7,450万円 (2,017万円)	27・1%	国庫支出金
3億714万円 (1億6,078万円)	52・3%	そ の 他

新装なった養護老人ホーム



主な建設事業

- 養護老人ホーム増築・改修事業
----- 3,547万円
- 農村総合整備モデル事業
----- 1億2,171万円
- 山村振興事業
----- 5,574万円
- 幸屋農道整備事業
----- 3,387万円
- 町道改良舗装事業
----- 2,629万円



除雪ドーザー入魂式

- 林道改良舗装事業
----- 3,517万円
- 除雪ドーザー購入
----- 1,819万円
- 打当温泉スキー場造成
----- 1,530万円
- 森林総合整備事業
 - 町有林 ----- 1,840万円
 - 財産区 ----- 1億1,496万円
 - 有 林

あ に



お父さん早いだろ
出稼ぎ前にスキー大会

小中村

お父さんが出稼ぎ先へ旅立つ前にスキー大会を、中村小学校で六日、校内スキー大会が行われました。中村小学校区のおとうさん達は、親子水入らずの短いお正月を過ごす、おとそ気分もそこそこに出稼ぎに行っていました。

らおうと、数年前から毎年お正月六日に開かれているものです。あいにくの大寒波が中村小学校にふきつけましたが、子ども達は負けずとハッスル。午前中は裏山で回転を、午後からは学校周辺で距離を行い、おとうさん、おかあさんの大声援を受けていました。

出稼ぎ者のついで
体に気をつけてね

お正月気分がまだぬけない六日、出稼ぎ就労者懇談会が打当のふる里センターで開かれ、出発を控えている六十名が出席しました。冬期間、ふる里に家族を残して出稼ぎに行っている方々は町内に約二百五十人おり、行先別では関東方面がダントツの八十四%、中京方面が5%、近畿方面が2%で、その他の各方面へ9%となっています。

まず保健婦さんの前に座って血圧測定による健康相談を受けました。

出稼ぎ先の健康は、本人はむろん家族にとっても心配のタネであり、保健婦さんからO・Kサインをもらってニコリする人もあれば、病院での健康診断をうながされた人も。

懇談会に入り、町長が当面する町政の課題として、森吉山スキー場開発や鷹角線第三セクターについての報告。町の将来に明るい材料があるので、皆さんも健康や安全に留意されて元気で働いて来てほしいと激励しました。

このうち、県の出稼ぎ互助会に加入している人は百二十三人ですが、町では就労先での事故に備えるよう、この日も受け付けました。

町のかつら号などで次々に会場入りした出席者は、

二元気でがんばって
きて下さい



ヨンの民謡、歌謡ショーが花をそえ、就労先の情報交換や、留守にする家族への不安などを話しながら会食をし、出発前のふる里の一日を過ごしていました。

水稲 31号・32号展示圃実績表

住所	氏名	品種名	田植月日	出穂月日	刈取月日	稈長	穂長	穂数	栽植密度		10a当り収量
									畦間	株間	
中村	柴田孝博	秋田32号	5.21	8.16	9.30	80.3	17.9	19.0	30.2	14.2	551
笑内	中嶋栄一	秋田32号	5.18	8.12	9.26	78.5	15.7	21.0	29.6	15.4	532
下小椋	柴田良照	秋田31号	5.23	8.18	10.2	80.7	18.2	20.8	29.7	16.3	556

農事暦

稲作

低コスト型稲作りで安定した収穫を

無駄のない施肥設計。

除草剤の使用は効率的に

病害虫は早期発見早期防除、農薬の安全使用を。

稲の生育はキメ細やかな見まわりから。

災害にそなえた品種選定を

圃場環境を考慮して早、中性種の組み合わせを。

耐冷、耐病、耐虫、倒伏等を検討したうえで作付割合の決定を。

※上の表は、秋田県の奨励品種として近く指定予定の新品種「秋田31号」「秋田32号」の町内試作実績です。参考にして下さい。

米作りは苗作りから

健康育成計画を立てて安定収量の確保をはかる。

野菜

最近の食生活は、肉食や即席食品が主体になって、野菜の供給が不足しています。みなさんの健康を保持するためには栄養のバランスが大切です。

春からは、せまい土地でもできる自家菜園で、あなたも野菜づくりに挑戦を。

野菜作りの基礎知識
品種を確かとぎのねらい
●とう立ちしにくい品種を選ぼう
●低温にあたりたり長日条件になったりすると、とう立ちする種類があります。その性質は品種によって大きくちがいます。

●新しい利用法に向く品種を選ぼう
●新しい料理法、嗜好に向く品種、まだ一般化していないものを選ぶのもおもしろいでしょう。

●地方色に富んだものを選ぶ
●土着の品種はその土地の風土、食生活に適しています。このなかには、他の地方でも作りやすいものも多いので、集めて栽培するのも楽しいでしょう。

連作障害のあるものがないもの

連作しても障害の出にくい野菜	連作すると障害の出る野菜
サツマイモ、カボチャ、ニンジン、ダイコン、タマネギ、ネギ、ニンニク、ミョウガ、フキなど	エンドウ、スイカ、ナス、ピーマン、トマト、メロン、キュウリ、シロウリ、ソラマメ、サトイモ、ゴボウ、クワイ、カリフラワー、ホウレンソウ、レタス、セロリなど

主な野菜の輪作年限

輪作年限	野菜の種類
1年休載	キュウリ、タイサイ、タカナ、カラシナ、ホウレンソウ、コカブ、インゲンマメ
2年休載	ニラ、パセリ、レタス、サラダナ、ミツバ、結球ハクサイ、キャベツ、セロリ、キュウリ、イチゴ、ショウガ、ビート
3-4年休載	ナス、トマト、ピーマン、メロン、シロウリ、ソラマメ、サトイモ、ゴボウ、カリフラワー、クワイ
4-5年休載	スイカ、エンドウ

薬草野菜？はいかが

野菜は薬草、こんな話を聞いたことがありますか。(野菜食健康法書から抜粋)

○高血圧、糖尿病にピーマン

○高血圧に即効人気一番の緑化野菜(ブロッコリ)

○血圧を下げるグリーンアスパラガス

等々たくさんありますので、健康な暮らしに欠かせない野菜をふんだんに食べましょう。

火の用心

冬がこいで危険です、避難路の確保と点検を

各地で火災が多発し、死者や負傷者が出ています。これから、ますます積雪も多くなり、冬囲いなどにより避難路が少なくなりま

すので、次の事に注意して災害から身を守りましょう。

一、避難路となる廊下、階段、出入口などには、避難の際に障害となるよう

町営住宅 入居者募集

次により町営住宅の入居者を募集します。

◎比立内二号・四号 木造平屋 家賃各二万五百円

◎畑町東裏三号 簡易平屋、家賃六千円。同九号、同、家賃七千円。

申し込み〓総務課管財係 締め切り〓二月十日

阿仁町標準小作料改訂 (阿仁町農業委員会)

昭和59年度以降の水稻の標準小作料が次の通り改訂になりましたので、お知らせ致します。

(10a 当り)

農地区分	部 落 名	小作料標準額
A区	小湊、吉田、荒瀬、畑町、湯口内	38,400円
B区	戸島内、幸屋渡、萱草、小様	31,700円
C区	打当、中村、比立内、長畑、幸屋、笑内、根子、伏影	23,800円
D区	荒瀬川	15,900円

納税者のみなさんへ

県町民税申告並びに 納税相談のお知らせ

昭和59年度県町民税の申告並びに納税相談を下記日程で行います。所定の場所、指定された時間内において下さい。

申告部落	申告月日	時 間	申告場所
打当、前山	2月7日(火)	午前10時～午後3時	打当温泉
中村、打当内	〃	〃	中村公民館
戸島内、榎木沢	2月8日(水)	〃	戸島内福祉館
小倉、野尻、鳥越	2月9日(木)	〃	小倉児童館
幸屋	〃	10時～1時	幸屋児童館
養生、長畑、羽立、牛滝	2月10日(金)	10時～3時	長畑児童館
笑内	〃	〃	笑内児童館
比立内新町、新中	2月13日(月)	10時～4時	農村環境改善センター
比立内下町、鳥坂	2月14日(火)	〃	〃
幸屋渡、岩ノ目沢	2月15日(水)	〃	〃
根子	2月16日(木)	10時～3時	根子児童館
伏影	2月17日(金)	10時～12時	伏影児童館
萱草	〃	10時～3時	萱草児童館
湯口内	2月20日(月)	〃	湯口内部落会館
小湊	〃	〃	小湊児童館
畑町、上新町、下新町	2月21日(火)	9時～4時	山村開発センター
水無、畑町東裏、荒瀬川	2月22日(水)	〃	〃
荒瀬、向岱、小沢	2月23日(木)	10時～3時	荒瀬公民館
吉田	2月24日(金)	〃	吉田児童館
下小様	2月27日(月)	〃	小様児童館
土倉地区	〃	10時～2時	戸嶋鶴男宅
上小様(土倉地区除く)	〃	〃	旧三枚小学校

◇ 申告期限は 3月15日です ◇

な物品を置かないこと。

一、身体不自由者、寝たきり老人、幼児などは、避難しやすく、救出、救助の容易な室に就寝させよう。また、こうした人だけを残して外出することは避けよう。

一、二階以上の階では、出火時に避難が困難となるので、避難用のロープやはしごなどを備えておこう。

一、方向の異なる二つ以上の逃げ道を決めておこう。

一、服装や持物にこだわらず、できるだけ早く避難しよう。

一、いったん逃げ出したら、再び家の中にはもどらないようにしよう。

吉田児童館のチビッコたちに、初夢プレゼント

財団法人朝日生命厚生事業団では、これまで、次代をになう児童、青少年の健全な育成を目的として種々の事業を行ってきましたが、



よい子らに本二十冊

このたび、吉田児童館に對して児童図書と、遊具を寄贈してくださいました。

贈られた図書は、幼児および小学生初級向「こねずみとえんぴつ」など六冊、小学生初級および中級向「緑の指の見た目」など八冊、小学生上級および中学生向「わが祖国チエコの大地よ」など六冊、あわせて二十冊です。また、遊具は、幼児向け創造組木「くむくむ」というものです。

寄贈を受けた町では、さっそく社会福祉協議会を通じて吉田児童館に設置、よい子のために役立てることとしています。

国民年金 だより

「国民年金に 加入してよかった」

〈町内Aさんの事例から〉

「私達夫婦は、昭和三十六年の国民年金発足当時から、苦しい時もありましたが、一回の未納もありませんでした。娘三人に恵まれて、ようやく末娘が十五才に達した時に、突然夫の死亡という不幸な事態に見舞われたのです。暗夜に灯を失っていた時に、役場の国民年金係から、末娘が十八才になるまで、母子年金が受給できるということを知ることができました。娘が高校を卒業するまで毎年ただけ

このことで、将来を心配していた私達一家ですが、今は決意も新たにがんばっています。」

これは、最近町内加入者で実際にあった事例です。国民年金加入とあわせて、国民年金加入が大切かを示す例といえましょう。

わすれず納め 家族の幸せ 国民年金

健康相談日の

お知らせ

開発センター

2月7日(火)

午前10時～午後3時

支所

2月15日(水)

午前10時～午後3時

健康管理センター(打当)

2月27日(月)

午前10時～午後3時

新春

囲碁、将棋大会

二月五日(日) 九時半

環境改善センター(幸屋渡)

主催 阿仁町公民館

善意

◆ 杜福協へ香典返し

● 下新町の工藤ナミエさん(亡夫、幹雄)から三万円。

● 幸屋渡の高木弘さん(亡父、丑松)から二万円。

◆ 杜福協へ寄贈

● 埼玉県在住の白川好光さん(荒瀬出身)からバスタオル百本。社会福祉協議会では、一人暮らし老人、身障者、老人ホーム入所者、母子寮入所者等の方々に民生委員を通じてお届けいたします。

◆ 杜福協へ寄贈

● 荒瀬の辻ヨシエさんからブリタニカ国際大百科事典(全三十巻)。公民館図書室に並べて利用させていただきます。

◆ 老人ホームへ慰問

● 荒瀬の佐々木勝吉さんから餅米五升。

● 老人クラブ白金会(会長

◆ 杜福協へ金一封

日蓮宗秋田県青年会様から、金五万円。社会福祉協議会では、交通、災害遺児の家庭に配分させていただきます。

◆ 公民館へ寄贈

● 荒瀬の辻ヨシエさんからブリタニカ国際大百科事典(全三十巻)。公民館図書室に並べて利用させていただきます。

◆ 老人ホームへ慰問

● 荒瀬の佐々木勝吉さんから餅米五升。

● 老人クラブ白金会(会長

高橋亀五郎)がお酒、ジュースを持参で友愛訪問。

○ 上新町の菅原精肉店からみかん一箱。

○ 横町の佐藤里子さんからみかん二箱。

○ 下新町の丸伊商店からみかん一箱。

○ 阿仁ライオンズクラブ(会長宮原忠美)が餅つき奉仕でお酒、ジュースなども持参で慰問。

○ 鷹巣町の三沢フヂエさんからみかん二箱。

○ 鷹巣町の千秋軒カメラ店からみかん一箱。

○ 下新町の庄司スーパースタからみかん一箱。

○ 下新町の近藤豊子さんからみかん一箱。

○ 水無の梅村イマさんからみかん一箱。

老人ボケを防ごう

保健婦だより

ボケの原因として、脳血管性痴保と老年痴保があげられています。

脳血管性痴保は、脳の血流障害によって脳の神経細胞に栄養分が届かないことによって生ずるものです。

老年痴保は、脳細胞がどんどん無くなり、脳が萎縮してしまうことによりますが、なぜ脳細胞が無くなるかは不明です。

聖マリアナ医科大学の長谷川和夫教授は、ひとつの目安として、

- ① きょうの日付けが分からない。
- ② 自分のしたことを5分以後に忘れてしまう。
- ③ いままで普通にできたことができない。
- ④ 自分のいる場所を正確に認められない。
- ⑤ 1人で留守番することができない。

の5問中、2問以上に該当すれば要注意だとして

います。

ボケを予防するときに特に重要なことは、まず第一に脳血管障害(脳卒中など)や、その背景となる病気を予防すること、第二にボケの要因となりやすい慢性病の予防を心がけることが大切です。

特に重要なのは、慢性病の高血圧や動脈硬化、糖尿病など早期発見、早期治療をすることです。

コレステロールが高かったり、心疾患があったり、肥満、喫煙なども危険因子のひとつとなります。

定期的な健康診断をうけるとともに、食事療法や体重のコントロール、日常生活の摂生などを行うことが大切です。

母子手帳交付日

支所	2月6日(月) 午前9時～12時
本庁	2月10日(金) 午前8時半～午後4時半

◎ 結婚おめでとう

畠山喜久雄	鷹巣町
鈴木るみ子	幸屋渡
京谷 益穂	小 様
大倉 昭子	二ツ井
鈴木 宏樹	鷹巣町
工藤 淳子	大 町
西根 春治	幸屋渡
奥山 秋子	男鹿市
石田 司朗	幸屋渡
中嶋わか子	笑 内
辻 俊夫	湯口内
桜田 信子	小 沢

戸嶋 慎也	(正美 二男)	小 様
藤井 昌敏	(正男 長男)	新 町
宮野 花寿美	(繁蔵 長女)	小 様
山田 実佳	(富士男 長女)	根 子
中 沢 大輔	(豊 長男)	幸屋渡

◎ こんには赤ちゃん

慶弔だより

12月分

みかん一箱。

○ 水無の加賀豊さんからりんご二箱。

○ 東京都の東京子さんから歳末見舞いとして六万円。

○ 日本専売公社大館営業所

からたばこ二百八十五個。

○ 阿仁部美容師会(代表西根フヂエ)が美容奉仕。

○ 畑町東裏の松橋静子さんが散髪奉仕。

■ おくやみ 申し上げます

松橋 良幸	(60)	幸屋渡
高木 丑松	(92)	幸屋渡
工藤 幹雄	(79)	下新町

伊藤 正志	合川町
片岡ひろみ	吉 田
橋本 松悦	鷹巣町
福田 孝子	吉 田